

財務省第7入札等監視委員会 平成22年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成22年9月30日（木） 金沢国税局大会議室	
委員	委員長 西村 茂（金沢大学法学部 教授） 委員 尾島 茂樹（金沢大学大学院法務研究科 教授） 委員 中村 明子（松本洋武法律事務所 弁護士）	
審議対象期間	平成22年4月1日（木）～平成22年6月30日（水）	
契約の現状の説明	平成22年4月～6月の契約実績	
抽出委員の選出	委員の互選により中村委員を次回抽出委員に選出。	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	2件	契約件名：北陸財務局情報通信設備等移設工事 契約相手方：扶桑電通株式会社 契約金額：6,090,000円 契約締結日：平成22年6月28日 担当部局：北陸財務局
		契約件名：小浜税務署水取宿舍ほか建具改修その他工事 契約相手方：青木建設株式会社 契約金額：14,490,000円 契約締結日：平成22年5月19日 担当部局：金沢国税局
随意契約（公共工事）	-1件	
競争入札（物品役務等）	1件	契約件名：自動車保守管理委託業務 契約相手方：日本カーソリューションズ株式会社 契約金額：12,491,873円 契約締結日：平成22年4月1日 担当部局：金沢国税局
	1件	契約件名：平成22年度普通財産の管理処分等業務に係る業務委託（石川地区） 契約相手方：北辰地所株式会社 契約額：2,180,000円（支払い手数料等の限度額） 契約締結日：平成22年4月1日 担当部局：北陸財務局
応札（応募）業者数1者関連	1件	競争入札（物品役務等）の「平成22年度普通財産の管理処分等業務に係る業務委託（石川地区）」事案に同じ
委員による意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他	なし	

意見・質問	回答
<p>【案件 1】 「北陸財務局情報通信設備等移設工事」</p> <p>契約相手方:扶桑電通 株式会社 契約金額 : 6,090,000円 契約締結日:平成22年6月28日 担当部局 :北陸財務局</p> <p>入札参加資格において、プライバシーマークの認定を有していることとなっているが、国際規格のISO27001で代替できなかったのか。</p> <p>プライバシーマークは業者において取得はかなり進んでいるのか。</p> <p>入札参加資格のなかに、「過去3年間に於いて同種または同程度の工事实績を有すること。」とあるが、今回の工事は、レイアウトの変更と情報設備の移設とがあり、どちらの実績のことであるか。</p>	<p>プライバシーマークは、請負者自らが取得した個人情報について、適切に取扱う体制を整っていることの認定を受けるものであり、例えば情報処理業務の受託等に伴い触れることとなった個人・法人情報の情報セキュリティの厳格な手順の確立が求められるISO27001とは異なっており、ISO27001がプライバシーマークの要件を完全に包摂しているとは言えないものと考えられたため、代替できないものとした。</p> <p>発注段階において、全国で11,553社あり、北陸で154数社、石川県で82社取得していることを確認している。ただし、業種別の社数は把握していない。</p> <p>閉庁日という短時間に情報設備の移設を行わなければならないことから、情報設備の移設の実績・経験を必要としていた。</p>
<p>【案件 2】 「小浜税務署水取宿舎ほか建具改修その他工事」</p> <p>契約相手方:青木建設株式会社 契約金額 : 14,490,000円 契約締結日:平成22年5月19日 担当部局 :金沢国税局</p> <p>本件は同一入札金額となり、くじ引き抽選であったが、どのような方法で行なわれたのか。</p>	<p>電子入札システムにより、あみだ方式のくじを行う方法であり、入札者は画面上に線を挿入することが可能となっている。</p>

意見・質問	回答
<p>【案件 3】 「自動車保守管理委託業務」</p> <p>契約相手方: 日本カーソリューションズ株式会社 契約金額 : 12,491,873円 契約締結日: 平成22年4月1日 担当部局 : 金沢国税局</p> <p>入札に先立って、業者から見積書を徴しているが、入札へ影響を及ぼすことはないか。</p> <p>値引率とは、どういうものか。</p> <p>業界団体のホームページで価格は公表されているが、一般的な価格なのか。</p> <p>本契約は、総価契約であり、月々の点検・整備以外に修理等予想し難い部分があると思うが、予定価格の積算は困難ではないのか。</p> <p>契約に含まれない突発的な故障等は、随意契約となるのか。</p>	<p>本件は、初めての調達案件であり、他の国税局の調達額との比較検討のため、見積書を徴し、値引率等の検討の参考としており、入札への影響はないと考える。</p> <p>業者は、定価で落札することはないため、実勢価格との調整が必要であり、参考としている。</p> <p>あくまでも参考価格である。</p> <p>本件は、通常の点検・整備に含まれるものに限定し、突発的な故障・修理は含まれていないため、総価契約であっても予定価格の積算に問題はない。</p> <p>そのとおりである。</p>
<p>【案件 4】 「平成22年度普通財産の管理処分等業務に係る業務委託(石川地区)」</p> <p>契約相手方: 北辰地所 株式会社 契約額 : 2,180,000円 (支払い手数料等の限度額、うち立替金等の額は60,000円) 契約締結日: 平成22年4月1日 担当部局 : 北陸財務局</p> <p>1者応札の理由が、「入札案件における業務の報酬に魅力がないと判断があったのでは」とのことであるが、「予定価格を見直す」などで1者応札解消に対応できることはないか。</p> <p>予定件数は、管内の他の地区ではどのような状況であるのか。</p> <p>いずれの地区も1者入札だったのか。</p>	<p>業務の報酬の目安となる予定価格は、適切な予定件数の把握と単価の算定に基づき積算されたものである。本事案では件数が限られていたことから、多くの業者にとっては利益等に結びつかないものとなった。</p> <p>各地区によってばらつきがあり、北陸3県の場合には、富山地区が若干多くて、石川、福井地区が少ない状況である。</p> <p>そのとおりである。</p>